

【家庭分野の学習目標】

※技術・家庭科の「学年末テスト」はありません。

- (1) 家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 家庭や地域生活の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察を論理的に表現するなど、生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 35 h
	ガイダンス	衣食住の生活(食) ・食事の役割 ・中学生の必要な栄養を満たす食事 ・食品に含まれる栄養素				夏休み	衣食住の生活(食) ・食品の選択と購入 ・生鮮食品と加工食品 ・食品の保存と食中毒の防止 ・日常食の調理、持続可能な食生活				冬休み	衣食住の生活(住) ・住まいの基本的な特徴 ・家族の安全を考えた住空間 ・持続可能な住生活	
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 35 h
	衣食住の生活(衣) ・衣服の役割、衣服の選択と手入れ ・衣服の計画的な着用、状態に応じた日常的な手入れ				夏休み	衣食住の生活(衣) ・布地の特徴とそれに適した縫い方、用具の安全な取り扱い ・生活を豊かにするための布を用いた製作				冬休み	消費生活と環境 ・商品の選択と金銭管理 ・購入方法と支払い方法、売買契約 ・持続可能な消費生活		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 17.5h
	家族・家庭生活 ・幼児の生活と家族 ・幼児の体と心の発達				夏休み	家族・家庭生活 ・子どもにとっての家族 ・幼児や高齢者との関わりでの工夫 ・家庭生活と地域での活動 ・多様な人々が暮らす地域				冬休み	家族・家庭生活 ・持続可能な家庭生活、地域生活 ・3年間の学習のまとめ		

<p>○授業について *チャイムが鳴るまでに準備を完了させて席につきましょう。</p> <p>*提出物は、期日を守りましょう。</p> <p>○生徒の皆さんに *調理実習の際は、安全に気をつけ、衛生的に取り組みましょう。エプロン・三角巾等の用意を求めた際は、保護者の協力が必要になることもあります。基本的に自分で用意できるよう、早めの準備を心がけましょう。</p> <p>・持続可能な社会、地球にしていけるために、常に環境に配慮したもののづくりや買い物も心がけましょう。</p>	<p>○家庭学習について *家族の一員として、中学生としてできる家庭の仕事を、自ら進んで手伝いましょう。</p> <p>*日常生活の中で、家庭科で学習したことを生かして生活できるように意識してみよう。</p> <p>○試験前はこうに取り組もう *授業中のプリント、ワークノート、教科書等を中心に復習しましょう。</p> <p>*授業中に行った実習でポイントになっている部分や注意点などについても理解しておきましょう。</p>
---	--

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	生活の自立に必要な家族・家庭や地域、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それに係る技能を身に付けているかどうか。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだし解決を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力を身に付けているかどうか。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしているか。うまくいかないことに対してどのように発言し、話し合い、作業しているか。粘り強く取り組んでいるか。
評価資料	・定期テスト ・授業観察 ・製作品 ・調べ学習レポート ・長期休業中課題	・定期テスト ・授業観察 ・製作品 ・ワーク提出の内容	・授業観察 ・振り返り等 ・レポート等 ・ワークシートの記述内容の変化等 ・ワーク提出の内容